

## ショートロールプレイ

### 【概要】



ショートロールプレイは、学生に自分とは全く異なる役割を与える事で、学習テーマに関わる当事者の観点から物事を捉える練習をすることができます。

ショートロールプレイは、2名以上の人で行います。異なる立場を2つ以上設けそれぞれの立場から意見を交換します。議論が空想や予測を前提としたものにならないよう、事前準備が必須です。

### 【目的】



- 普段とは異なる観点で物事を捉える
- 自分とは異なる立場に立つ人と議論をする

### 【所要時間の目安】



- テーマ、役割の説明、テーマに関するデータの配布：約10分（データを読む時間も含む）
- 議論：約15分



### 【準備物】



- それぞれの立場から議論する際に用いるテーマに関するデータを印刷したもの

### 活動サンプル

#### 活動の流れ

- ①テーマ、役割、データの配布（10分）
  - ・2人以上でグループになり、役割を割りあてる
  - ・各々の役割ごとに関連するデータを読み込む
- ②役割Aの立場に立った主張（2分）
  - ・役割Aが意見を言う
- ③役割Bの立場に立った主張（2分）
  - ・役割Bが意見を言う
- ④議論（8分）
  - ・お互いの主張に基づき議論する 
- ⑤役割に関係なく議論を行う（3分）
  - ・A、Bの役割に関係なく議論を行う

#### 留意点

##### 役割別に用いるデータの準備が鍵！



議論のテーマに関するデータの量が、ロールプレイを充実させる鍵となります。単なる雑談にしないためには、強い主張を行うための十分な根拠が必要となります。

統計データ等の事実を準備し、学生が想像や予測を頼りに議論を進めない事がポイントです。



##### その役割になりきる事が鍵！

議論をしていると、学生自身の本音がいつい出てしまいます。しかし、ここは完全に頭を切り替えて、設定通りの役割から議論するよう促してください。